

# デジタル田園都市国家構想交付金事業評価シート

		担当課名	建設産業課・社会教育課	事業No.	3
事業名	3つの徳島県・地域連携DMOが協働する観光振興プログラム【地方創生推進タイプ】				
目的	藍染料の製造から染色に至るまで5感で感じる体感型観光の推進、藍産業・染織関係者等と連携した魅力発信事業の実施により、町民・県民の藍に関する理解・関心の深化を図る。				
実施内容	町が主体となって、次の事業を実施 1) “藍” deグルメ事業 2) 日本遺産普及事業 3) 藍住町総合文化ホール5周年記念事業 4) 藍住町プロモーション動画制作事業				
重要業績評価指標 (KPI)	指標	目標	実績		
	人口の社会増減数	+63人 (2018) → +100人 (2025)	-90人 (2024)		
	移住者数	520 (2019) → 550人 (2025)	565人 (2024)		
達成度	A : 達成		B : 概ね達成	⊙ : 未達成	

## 【事業費と財源内訳】

(単位：円)

2024年度	計画額	実績額	交付金充当額	備考
事業費	7,000,000	6,070,307	3,035,153	事業費の1/2

## 【2024年度の取組と課題】

<p>1) 7月の「とくしま藍推進月間」に合わせて、藍染め製品を身に着けて、町内飲食店の協力店へ行くと、お得なサービスが受けられるイベント「“藍” deグルメ」を開催した。スタンプを5つ集めると商品券が当たる抽選に応募できるスタンプラリーも行い、県内外からの参加があった。今回は、スタンプラリーの賞品を本町のふるさと納税返礼品とすることで、町内外に地場製品のPRを行った。</p> <p>また、イベントチラシに藍の館入館料無料チケット欄を設けることで、イベントへの参加及び藍の館の利用の促進を図った。</p> <p>【参加人数延べ1,375人、抽選応募者数224人、協力店44店、藍の館入館者数84人】</p> <p>「“藍” deグルメ」のイベントは定着化してきているが、事業内容は固定化されつつあり、引き続き事業内容に工夫が必要である。</p> <p>2) 日本遺産「藍のふるさと阿波～日本中を染め上げた至高の青を訪ねて～」のPRのため、織と彩をテーマとしたイベントを「日本遺産フェスタin藍のふるさと藍住」と題して藍の館において開催した。メインイベント開催日には入館料を無料とし、県内外から多くの方にお越しいただいた。</p> <p>3) 毎年11月に実施しているN響のコンサートにおいて、昨年に引き続き演者に藍染めの衣装を着用していただき、藍染めのPRを行った。2023年度は、女性用の衣装として藍染めのドレスを制作し、2024年度は男性用の衣装として藍染めのベストを制作した。</p> <p>4) 藍染料の生産や流通によって育まれた本町の歴史や文化を、町内外に広くPRするための動画を制作した。</p>
--

## 【今後の取組】

<p>町民や県民の藍に関する理解・関心の深化を図るとともに、県内外やインバウンドに対する観光需要に対して、引き続き“藍” deグルメ事業や日本遺産の強みを活かしたイベントの開催により、藍の館やあいずみ藍工房を中核とした5感で感じる体験型観光を推進していく。</p> <p>また、2025年度は町制施行70周年を迎えることを契機として、藍染衣装のファッションショー「インディゴコレクション」を6年ぶりに開催する。</p>
---

※藍住町総合計画・総合戦略推進委員会の意見

・誰をターゲットにするのかをある程度絞り、思い切った施策を打つことも必要ではないか。ゲーム作品などとのコラボや、「聖地巡礼」「ぬい活」といった、キャラクターが好きな若い女性層を意識した企画も組み合わせると面白いのではないかと思う。